

# 2022年度 自己評価公表

大阪信愛学院幼稚園

## ◎本園の教育目標

カトリック精神を基盤とする幼きイエズス修道会の教育理念に基づき、園児の全人格的な開発を目指す。一人ひとりが主体的に活動し、それぞれの可能性を最大限に伸ばして自己形成を図り、また豊かな心をもって生活することのできる人を目指し、育成する。

キリストの教えに根ざした教育	神の愛によってつくられ、かけがえのない「いのち」を与えられている事を知り、日々の保育を通して祈る心、感謝する心を育てます。
一人ひとりを大切にす教育	自分が神からも人からも愛されていることに気づき、園児と教師、園児相互の関わり合いを通して一人ひとりが大切にされ、活かされている事を感じ、互いに思いやり、いたわり、励ましあって生活する態度を育てます。
自己形成を促す教育	自分で選んだ活動に取り組み、関わりながら充足感を味わい深めるように援助し、困難を乗り越える忍耐、努力、協同の態度を育てます。
社会貢献への自覚と態度を形成する教育	日常生活の場や社会の様々な出来事を通して、弱い立場の人たちと共に歩むことが出来るよう、人を思いやる心、奉仕する心を育て、自分は社会より期待されている存在であり、それに応えていく存在でもある事を自覚する心を育てます。

## ◎重点目標

資質向上の為の取り組みの充実	モチベーションマネジメントシステムを更に充実させ、個々の職員の目標や課題を明確にし、幼稚園として全体的な質の向上を図る。
宗教教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスのみならず、年間を通してそれぞれの時期に訪れる行事を見直し園児に伝えていく。</li> <li>・園児だけではなく保護者ともカトリック精神を共有し、園での取り組みや思いを理解していただけるようにする。</li> </ul>
研修① 自己研鑽のための研修を様々な形で行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己研鑽のために、モンテッソーリ教育だけでなく、様々な分野で積極的に学びを深める。</li> </ul>
研修②(保育内容・モンテッソーリ教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容、教材研究などを高めていく努力をする。</li> <li>・定期的にモンテッソーリ研修を行い保育者の質の向上に繋げる。</li> </ul>

◎本年度の取り組み内容及び自己評価 (A:十分できた B:できた C:できなかった)

中間的目標	取り組み状況	自己評価	
<p>資質向上のために何が必要かを明確にし、職員それぞれの目標を明確にすることで協力体制のもと取り組む。</p>	<p>計画的に面談を予定し下記の件について取り組んだ。            ①個人の目標設定            ②定期的な担当リーダーとの面談            ③個人の振り返り            ④目標達成の到達度とその後の課題設定のための評価会議</p>	<p>モチベーションマネジメントシステムを更に充実させるべく、計画的に行えるように努力した。日程がずれたりすることもあったが調整しながら実施した。また、担当リーダー(サポーター)同士の話し合いによって、面談の対象者が課題を意欲的に取り組む事ができるようにする方法を共有しながら、グループで個人を支える体制を整えるようにした。            振り返りを苦手分野の克服だけでなく、これから挑戦していきたいことや求められている事を明確にし、より一層資質向上に今後も繋げて行きたい。</p>	<p>B</p>
<p>カトリック精神に触れる中で職員・園児が共に豊かな心を育て、保護者へ園での取り組みや様子・カトリック精神を発信することで 園に対する理解を深めていただくよう試みた。</p>	<p>・年長児だけでなく年中・年少児でもいつも見守っている人が近くにいることを感じられるよう日々の場面の中で話に取り入れながら進めた。            ・宗教通信を発行し、「よろこびの訪れ」という題で月に1度、聖書に出てくるたとえ話などを取り上げ、保護者にわかりやすくカトリック精神を伝え、共有し始めた。            ・母親対象のマリア会・父親対象のヨゼフ会を恒常的に続け、聖書に出てくるお話やモンテッソーリ教育の話などを通して、より身近な距離で保護者との関わりを持ち、相互理解を深めると共に保護者に啓発に対する取り組みを行っている。</p>	<p>園の基盤であるカトリック精神を伝える中で、職員一人ひとりがより一層学びや精神を深め、保育の中で子ども達に伝えることが出来るように進めて行くために時間を設けたい。</p>	<p>B</p>
<p>研修① 自己研鑽のための研修を様々な形で行う</p>	<p>・阪私幼等の研修などに積極的に参加できるよう研修担当から職員への情報発信を密にすると共に、お互いに情報を共有するように努めている。</p>	<p>コロナウイルスの流行に伴い、オンライン研修が定着する中で園内のシステムを整え、無理なく研修が受講できるようになった。今後は対面研修も増えることも予測され積極的に外部の研修にも参加すると共に園内研修も充実させ、信愛幼稚園の強みに繋げていきたい。</p>	<p>B</p>
<p>研修②(保育内容・モンテッソーリ教育)実践内容の向上。教材研究による環境の見直し</p>	<p>・定期的にモンテッソーリ教育の研修を行い、新任教諭も子どもに教具の提供方法や子どもの見立て、適切な言葉掛けが出来るような質の向上に努める。</p>	<p>研修のスケジュールを計画的に行う事で確実に研修を実施することができた。教材研究に関しては、時間の確保がもう少し出来るようより充実したものになった。</p>	<p>B</p>

◎総合的な評価結果

B	<ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症について日々状況が変化する中で、まだまだ様々な場面で対応を求められた1年であった。この3年間で行事・保育の進め方・日々の業務のあり方について検討し直した事が多かったが、今年度改めて簡略化ではなく簡素化ということに目を向け何を大切にすべきかを見つめ直した1年であった。今後はこの1年の取り組みを定着させ質の向上に繋げて行きたい。</li><li>・昨年度学校関係者評価にもあったように、宗教行事としてイースターツリーを飾るなどし、「復活祭」を加えられたことは新たな取り組みとして行う事ができた。</li><li>・モチベーションマネジメントシステムによって保育者本人が振り返る事で、課題を明確にできたり職員同士が学び合う場を作ったりする事ができた。悩んでいる事や嬉しかったことなどを共有することにより、職員の資質向上にこれからも努力していきたい。</li></ul>
---	---

◎学校関係者評価

未曾有の災禍の3年間、通常ではない保育で大変な思いをされた中で今年度は大切な物を残した上での「簡素化」にシフトされ全ての行事も無事終えた事に感謝致します。2年間途絶えていたお泊まり保育を、密を避けて行う為新しい試みを考えてくださり実施出来たことは、子どもまた保護者も大変嬉しく思いました。来年度は更にコロナ前に戻すもの、新しく構築された内容でいくものと選別していくことが求められます。その中で運動会年長組が行うパラウエーブはモンテッソーリ教育の集大成だと思っておりますので再開していただけるよう希望します。